

育メン紹介

「父親業6年生」 菅野 敦さん (年長児 萌音さん 0歳児 琥太郎くんの父)

娘の萌音が生まれてから6年。春には小学生になります。入園当初、なかなか離れることが出来ずにいた彼女がランドセルを背負い登校する姿がまだ想像できません。

この6年間を振り返ってみると、父親として何か特別なことをしてあげたという記憶はありません。普通の家族とは違いすれ違いが多く、忙しい時には一週間に数時間しか会えない日もありました。そんな中で、休みの日には一緒に遊んで料理や洗濯、掃除の手伝いをしてもらい、だんだんと出来ることが多くなってきたのを実感しています。

弟の琥太郎は、ヤンチャ盛り…姉とは違い目を離せばどこにでも行ってしまいます。これから益々ヤンチャ坊主になっていくのかと思うと楽しみ？で仕方ありません。(苦笑)二人ともあつという間に成長するのかと考えると、短い時間の中で父親として何かを教えるというよりも、子どもたちの輝くところを見つけ伸ばしていくということが正解なのかもしれません。

父親業6年。まだまだ半人前にもなっていない自分がこれからどんな父親になるのかは、子どもたちが大きくなってから答えが出るでしょう。ただこれからも家族全員が仲良く、一緒にいられる時間を大切に過ごしていくことが当面の目標です。



「半泣きのいい男」 鈴木 俊胤さん (2歳児 大くんの父)



小児科の待合室でおもちゃスペースに、ゆたかと1歳半前後の女の子。線路と電車のおもちゃ遊び。ゆたかは線路をつなげて完成させたい様子だが、女の子はバラバラにするのが楽しい様子で、ばらばらに…。親としては、「壊されて泣くのかな?」「怒って、手を出す前に止めないといけないな」と思い見ていると、女の子に対して半泣きの表情(我慢しながら悔しいけど、どうしようもないみたい)で、にっこり。初めて見る表情。遊び終わって何をしていたか聞いてみると「赤ちゃんバラバラおもしろいんだって。ゆたかの電車貸してあげた」とのことばに感動。「赤ちゃんにかしてあげたのか?お前カッコいいな」と伝えると、今度は褒められたことへの照れ隠しのヘンな顔(笑)。

子どもの成長を肌で感じることが出来る“育児って面白い”。そしてこの感動を与えてくれる子どもたち、支えてくれる家族、何よりここまで成長させていただいた保育園の先生方のご指導に感謝です。

「enjoy」 奥村 力丸さん (0歳児 瑠香ちゃんの父)

子どもの成長のスピードには本当に驚かされます。ついこの前まで歩くことも出来なかった子が、今ではチョコチョコ走り回って、私たちを困らせてくれます。でも、子どもの表情や仕草は見るだけで癒され、“笑顔や感動を与えてくれる素晴らしいものだなあ”と実感しています。

育メン…と言われる程のことはしていません。ただ、子どもと一緒に過ごす時間が本当に楽しく、いろいろとしてあげたくなるのは確かです。「こんな風にいろいろとしてあげられるのも、いつまでだろうか?」そんなことを考えると、今、子どもと一緒に過ごしている時間を大切にしたいと思います。

子どもはこれから多くのことを学び、成長していくでしょう。その成長をサポートしてあげながら一緒にいる時間をたいせつにし、楽しく過ごしていければいいなと思います。



育児講座



12月7日、「こうちゃん」こと相田幸二さんをお迎えして育児講座「忙しいお母さんのための簡単レシピ」が開催され、多数の保護者の方々にご参加いただきました。毎日お仕事や育児に忙しい保護者の方々にも作っていただけるような簡単でおいしいレシピの紹介があり、後日、「早速作りました」という声もいただきました。幸せ料理研究家と自らを呼ぶ「こうちゃん」。家は安らぎの場所、食卓は、「家時間の充実」との持論をお持ちです。おいしいごはんが家族みんなが笑顔になりますようにとの思いを伺うことができました。

編集後記

今回は食育をテーマに北部保育園の春夏秋冬を追いました。四季折々の自然の恵みを感じながら、たくさんの経験を通して得た発見や感動は、子どもたちの素敵な宝物になりました。これからも食を通して人を育てる大切な保育を心がけ“おいしい”笑顔が広がる保育園でありたいと思います。



ゆめポケット

第18号 2014年3月15日

「食」の大切さを伝えたい 「おいしい!」がわたしたちに くれるもの Part.2

社会福祉法人 米沢仏教興道会
興道北部保育園

米沢市塩井町塩野1476-1
TEL 21-5070 FAX 21-5128



みんなで力を合わせて
うんとこしょ!
どっこいしょ!

園長あいさつ

園長 高橋明美

本園が現在の場所に移転改築して今年でちょうど10年になります。この10年という節目に今年園長として就任致しました。

近年様々な社会的環境の変化により子どもたちの遊びや地域の環境が年々変わりつつあります。最近では公園や空き地から子どもたちの歓声を聞くことも少なくなり少し寂しい気も致します。幸い本園を取り巻く地域の環境は大変恵まれており、米沢市総合公園や人口芝サッカーフィールドがすぐ近くにあり、子どもたちも頻りに足を運んでいます。また園舎北側方面にはまだまだ自然を身近に感じることのできる田園風景が広がり、一昨年には園舎に隣接して保育園の広い農園も完成しました。

現在ここでは150名の子どもたちが毎日元気に生活しています。恵まれた環境のもと、自然体験を通して子どもたちの新しい発見や驚きをこまやかに受け止めながら、たくましくそして心豊かに育って行くことを心から願っております。

人間形成の基礎を培う大切なこの時期、清らかで柔らかな心の子供たちが共に育ち合う生活の場にしていきたいと考えております。そして誰よりも職員が心のしなやかさを失わずに大切な子どもたちと向き合っていきたいと思っております。

この先も地域の皆様にお力添えをいただきながら、保護者と職員が一緒になって将来を担う子どもたちの成長をずっと見守っていきたくて思っております。

種まき・開花の春

春、子どもたちと「なに、そだてようか？」と相談すると、「トマト、じゃがいも、すいか、きゅうり、なす、とうもろこし・・・」と子どもたちの好きな野菜が次々と。

さっそく、みんなで苗や種を植えて、そっと土をかけて、おひさま農園の始まりです。子どもたちは水をかけたり草をむしたり、「おつきくな〜れ!」と声をかけたりしながら、一生懸命にお世話をします。

はじめて、じゃがいもの芽が出たとき、「あっ!めがでた!」「やった〜!」と大喜びの子どもたちの声が青空いっぱいに広がった種まき・開花の春です。



あっ!
みつけた!
ほら〜みてみて

おみず
おいしい?
いっぱいのもんでね

はやく
めをだしてね!

結実・収穫の夏

畑のあちらこちらから芽が出てふくらんで花が咲いて・・・生い茂る緑の葉っぱの陰から色とりどりの実が見え隠れし、それを見て「かわいい!」とそっと触れる子どもたち。赤いトマトを見つけると「これ、とっていいの?」と大事そうにとって食べるトマトの味は格別なおいしさ。

茄子やきゅうり、ピーマンなどはふりかけなどおいしいメニューで大活躍! いろいろな味と出会うことができた結実・収穫の夏です。

うふふ、
おいしそうだね

とれた、
とれた、みて〜

つやつやとした
ナスが採れました



大きい
おいもさんに
な〜れ!



宝石のようなキラキラ
としたさくらんぼ!
つぶさないように...
こぼれないように...
そ〜つと...ね!

自然の恵み 豊かな育ち

子どもたちは、自分たちで野菜を作り、育てる喜びを感じ食することで、畑で育ついのちの大切さに気づくようになります。私たちは、これからも自然の恵みに感謝しながら、自然体験を重ねていきたいと思っています。

実り・食欲の秋

畑一面に広がる芋の葉っぱを見て、子どもたちの表情は輝きました。「うんとこしょ!どっこいしょ!」と芋づるを引っばって土の中から出てきた大きなさつまいもにびっくり!! さっそく、落ち葉を集めてやきいもパーティー。「あま〜い!」「んまっ!」とあつあつお芋を食べながら、友だちとおいしそうにほおばっていました。

みんなで育てたさつまいもの味は、何とも甘くておいしくて、まさに「ほっぺが落ちそう!」だったようです。他にも里いも・白菜・大根などたくさんの野菜を大切に育て収穫し食べる喜びをみんなで分かち合うことが出来た実りの秋です。



にんじんさん
つまんで“ばくづ”

ホクホク
甘くて
おいしいね



スプーンで食べれるよ!
大きな口で“あむ、あむ”

落ち葉集めて
「焼き芋」の準備



蓄えの冬

冬を迎え、子どもたちの汗や笑顔を輝かせながらおいしい野菜を実らせた「おひさま農園」も一面雪に覆われました。

種植えから始まり水をやって生長を見守り、おいしく食べるというこの一年の経験を通して子どもたちは心もからだも大きく成長しました。

この経験をかてに寒い冬を乗り越え、友だちと一緒に暖かい春の訪れを心待ちにしています。また、来春「おひさま農園」に子どもたちのピカピカ笑顔が輝きますように!



どこに
かざろうかな...

みんなで
食べるって
たのしいね!



おいしい!
おかわりしよつと!

